**残業代は誰でももらえるのですか？**

**Q４**

会社の指揮命令下に置かれている時間のことを「労働時間」といい、休憩時間を除いて、

**原則1週間に40時間、１日に8時間**までを、**「法定労働時間」**といいます。

これを超えて仕事をすれば、**時間外労働として割増賃金(残業代)をもらうこと**ができます。

(なお、法定労働時間を超えていなくても、会社の就業規則等で、所定の労働時間を超えて残業した際に割増賃金を

支払うことが定められている場合は、残業代がもらえます。）

また、会社は労働者に、1週間に1日または4週間に4日の「法定休日」を与えなければならず、

この日に働いた場合にも割増賃金がもらえます。

時間外割増賃金の割増率は、法律で以下のとおり最低基準が定められています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区　分 | | 割増賃金額 |
| **(1)時間外労働** | 原則、１日8時間超、１週40時間超 | 時間給の**25％増** |
| １か月60時間を超えた時間 | 時間給の**50％増** |
| **(2)休日労働** | | 時間給の**35％増** |
| **(3)深夜労働　（原則午後10時～午前５時）** | | 時間給の**25％増** |

例）時間給(1時間当たりの単価)が1,200円の人の場合の割増後の単価

(1)時間外労働の場合 ➡　1,200円 ＋ 300円(1,200円×0.25) 　＝ **1,500**円／1時間

(2)休日に労働をした場合 ➡　1,200円 ＋ 420円(1,200×0.35)　 ＝　**1,620**円／1時間

(3)深夜に時間外労働をした場合 ➡　(1) ＋ 300円(1,200×0.25） ＝ **1,800**円／1時間

(4)休日の深夜に労働をした場合　➡　(2)　＋　300円(1,200×0.25)　＝　**1,920**円／１時間



【action】

残業代が支払われていない場合は、会社に支払いを求めましょう。

会社が対応してくれない場合は、会社のある場所を担当する労働基準監督署に申告することが

できます。

最後の確認！

**□　働いた時間を把握している**

**□　就業規則等で、時間外労働・休日労働の割増賃金の規定を確認した**